

## 聴覚障害者向けコミュニケーション支援機器の設置について

本年4月1日の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)の施行に伴い、厚生労働省に来庁される聴覚障害のある方と職員とのコミュニケーションをサポートする機器を設置しました。

- 運用開始日：平成28年6月1日
- 設置場所：来訪者受付（1階及び地下1階）、行政相談室、障害保健福祉部
- 取組概要：

### (1) 卓上型対話支援スピーカーを設置

(ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社の「コミュニケーション」を導入)

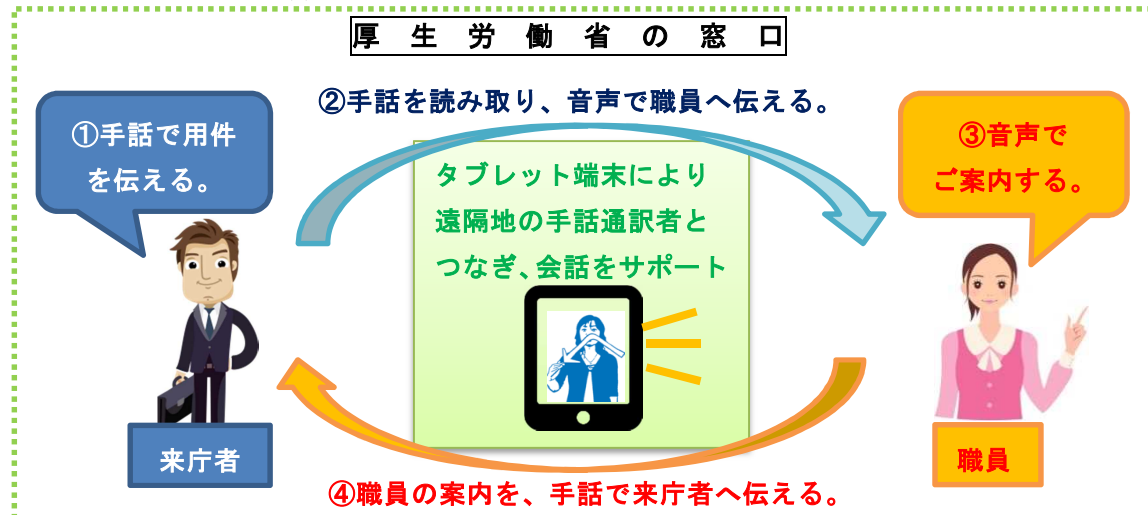
窓口担当者の声を高性能マイクで集音し、周波数の調整により、来庁者側の小型スピーカーから聞き取りやすいクリアな音声を発します。音声を単に大きくするのではなく、明瞭にすることでコミュニケーションを円滑化します。

### (2) 以下の3つの機能を利用するため、タブレット端末を設置

(株式会社プラスヴォイスに委託)

#### ① 遠隔手話サービス

遠隔地にある通訳センターの手話通訳者と厚生労働省窓口をテレビ電話でつなげることで、手話通訳を受けることができます。



#### ② 筆談アプリ「UD手書き」

タブレット端末の画面上で筆談をすることができます。

#### ③ 音声認識アプリ「UDトーク」

音声認識機能により、音声をリアルタイムに文字で表示することができます。

#### 【照会先】

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部  
企画課 自立支援振興室 情報・意思疎通支援係  
電話：03(5253)1111 (内線 3076)

## 厚生労働省に導入する聴覚障害者向けコミュニケーション支援機器

1階及び地下1階の来訪者受付、行政相談室、障害保健福祉部に、以下の4種類を導入します！

	(1) コミューン(※1)	(2) 遠隔手話サービス(※2)	(3) UD手書き	(4) UDトーク
概要	窓口担当者の声を高性能マイクで集音し、周波数の調整により、来庁者側の小型スピーカーから聞き取りやすいクリアな音声を発し、コミュニケーションを円滑化する。	遠隔地にある通訳センターの手話通訳者と厚生労働省窓口をテレビ電話でつなげることにより、聴覚障害者と健聴者が会話する際に手話通訳を受けることができるサービス。	タブレット端末の画面上で筆談ができるアプリ。	音声認識機能により、音声をリアルタイムに文字で表示するアプリ。  (日本語→外国語翻訳機能もあり。)
対象者	難聴者、高齢者	手話を使う方	筆談をしたい方	聴覚障害者、外国人
提供企業	ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社	株式会社プラスヴォイス		

※1 聞こえを支援する器具や設備には、この他にもFM補聴器や磁気ループなどもあります。

※2 この他にも、株式会社シュアールが提供する遠隔手話サービスや株式会社アイセック・ジャパンが提供する遠隔文字通訳サービス、日本財団が実施する電話リレーサービスもあります。



## 障害のある方向け・便利アプリの紹介

障害のある方向けの便利アプリは、「UDトーク」「UD手書き」以外にも数多くあります。

【参考】東京都障害者IT地域支援センター ホームページ

- iPhone、iPad用・障害のある人に便利なアプリ一覧：<http://www.tokyo-itcenter.com/700link/sm-iphon4.html>
- Android携帯用・障害のある人に便利なアプリ一覧：<http://www.tokyo-itcenter.com/700link/sm-and1.html>

※上記ホームページより一部抜粋

ロゴ	アプリ名	価格	詳細
	<a href="#">UDトーク</a>	無料(*)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語音声認識エンジンAmiVoiceCloud(アミボイスクラウド)を使って、声を文字化します。</li> <li>・複数の本体同士を接続して会話のやり取りを行うことができます。同時に接続出来る台数はデバイスの仕様や環境に依存します。</li> <li>・キーボードでの入力(本体、Bluetooth)も可能です。</li> </ul> <p>* (「1人で使う」などの機能を制限なく使用したい場合は課金か、または商用として使用する場合は有料の法人プランの契約が必要。)</p>
	<a href="#">こえとら</a>	無料	<p>聴障者と健聴者のコミュニケーションをサポートするアプリです。音声で入力ができ、入力した文を音声で伝えることが可能、定型文の登録と利用もできます。</p> <p>絵文字で感情や季節を表現でき、複数台の端末を接続してチャットもできます。</p> <p><b>総務省所管の国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)による開発</b></p>

障害者向け(聴覚、視覚、発達障害者など)だけでなく、高齢者向けや緊急時の安否確認などに役立つアプリなどが紹介されていますので、ぜひ一度ご覧ください！